

1 題材名 3年生になって【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 4月

## 2 題材について

児童はクラス替えがあり新しい友達との出会いの中で、学級での生活に期待を抱いている。楽しく充実した生活を送るため、年度初めのこの時期に3年生になったことを学級全体で話し合い、自覚をもって生活を送ろうとする目標をもつことができるようにしたい。また、この活動を通して、一人一人が希望や目標をもち、それぞれの資質や能力を生かしながら学級の仲間と協力して居がいのある学級作りをしていくことも目指したい。

## 3 題材の目標

- 係活動や清掃活動などで、自分たちが活躍すべき場や活動の内容について関心を持ち、進んで調べ、3年生としての目標をもつとともに、居がいのある学級の在り方について考えようとする。(関・意・態)
- 係活動や清掃活動などで自分たちが活躍すべき場や活動について、友達と話し合いながら、3年生としての目標と居がいのある学級作りについて考え、自分の考えを発表することができる。(思・判・実)
- 3年生として自分たちが学級をよくしていくためには、係活動や清掃活動など、様々な場面で周りのことを考えて活動し、協力していく必要があることが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 係活動や清掃活動などで、周りのことを考えて活動していく必要があることに気づき、実践しようとする。(実践力)
- ◆ 学級の一員として自分たちが活躍することが、学校をよくしていくことにつながることを知らせ、3年生としての役割や責任の大切さを伝える。

(1-(2) 勤勉・努力、忍耐)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 3年生として必要な仕事の内容や行事での役割等について調べておく。 (休み時間・ふれあいタイム等)	○ 年間行事計画を提示したり、昨年度の3年生の活動の様子を知らせたりして、児童が考えやすいような資料を用意する。

### (2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「3年生でがんばりたいこと」

② 活動のねらい 3年生の在り方を考え、自分のめあてをもとう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 調べてきたことをもとに、3年生の役割や責任について、教師の話聞く。	○ 2年生と3年生の違いを、年間行事計画を示しながら説明するなど、具体例を挙げて話したりする。
展開	2 調べたり話し合ったりして分かったことや3年生での夢や希望、不安などを発表する。 3 発表し合ったことをもとに、3年生としての在り方を話し合い、目標に書く。	○ 様々な気持ちを自由に話し合える雰囲気作りをする。 ○ 自分たちのこれからの役割を自覚し、考えられるようにするために、友達の発表した意見に付け足す意見や反論する意見をつながながら発表できるよう助言する。 ◇ 3年生としての自分の目標を書くことができたか。
終末	4 3年生としての目標を発表する。	○ 目標カードを教室の壁面に掲示し、児童がいつでも確認、振り返りができるようにする。

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 係活動や清掃活動などの様々な場面で自分のめあてをもち、活動に取り組む。 (常時活動)	○ 係活動や清掃活動などの様々な場面で、児童の活動のよさを見つけ、称賛していく。 ◇ 自分たちの活動によって、学級がよくなっていることに気付いているか。

1 題材名 楽しい遠足【内容(2) 希望・目標】

指導の時期 5月

2 題材について

春の遠足では、なかがわ水遊園で、自然と触れ合う体験をしたりグループ活動を行ったりする。そこで、本題材では、公共の場所でのルールやマナーについて考えることを通して、決まりを守り、公共物を大切にする態度を養いたい。また、よりよいグループ活動にするためのテーマや約束を話し合う活動を通して、遠足に主体的に楽しく参加しようとする意欲や互いの立場を思いやりながら協力的な態度で参加しようとする心情を育てたい。

3 題材の目標

- なかがわ水遊園での活動に関心をもち、よりよい遠足にするための話合いに意欲的に参加しようとしている。(関・意・態)
- 公共の場所でのルールやマナーを守った過ごし方を考えたり班の友達と協力しながら過ごすために大切なことを考えたりして、自分の意見を発表することができる。(思・判・実)
- 公共の場所では一般の人たちの迷惑にならないように過ごすことの大切さが分かる。また、班活動では互いの立場を考えて協力的に過ごすことが楽しい遠足につながる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 場に応じたふさわしい態度を知り、ルールやマナーを守って過ごせるよう友達と声をかけ合い、コミュニケーション能力を身に付ける。(技能)
- ◆ なかがわ水遊園でのよりよい活動について考え、実践することを通して、公共の場所での約束や決まりを守り、公共物を大切にする態度や、友達と仲良く協力する心情を育てる。(4-(1) 公德心、規則の尊重)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 遠足の概要について、教師の説明を聞く。 (朝の会等)	○ 遠足の日程や内容について、マップや見取り図等の資料を用いて、遠足への期待感を高めるとともに、具体的なイメージをもつことができるようにする。

(2) 本時の活動

- ① 活動テーマ例 「楽しい遠足するために守ることを考えよう」
- ② 活動のねらい 遠足がみんなにとって楽しく思い出に残る1日になるように、めあてや約束を話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」「活動のねらい」を確認し、遠足の日程などについて、教師の話聞く。	○ 「みんなにとって楽しい」ということの意味を考えるよう促し、公共のマナーや友達と協力することを意識して話し合うことができるようにする。
展開	2 公共の場所でのルールやマナーについて、全体として気を付けることを話し合う。 ・ バスの中の過ごし方 ・ 集合の仕方 等	○ 自分たちが活動する場所は公共の場であるということを踏まえ、これまでの経験をもとに、どんなことに気を付ければよいかを話し合えるようにする。 ○ 楽しい活動にするためのグループのめあてや約束を話し合い、グループの名前やテーマを決めるよう促し、互いの考えを発表できるようにする。
	3 班ごとにめあてや約束を話し合う。 ・ 安全なところで遊ぶ ・ 順番を守る ・ 勝手な行動をしない	◇ 公共の場所では、一般の人たちの迷惑にならないように過ごすことの大切さが分かったか。 ◇ 公共の場所でのルールやマナーを守った過ごし方や班の友達と協力して過ごすために大切なことを考え、自分の意見を発表することができたか。
終末	4 本時の活動を振り返り、遠足の決まりや約束について教師の話聞く。	○ 遠足への参加の仕方について、友達の意見をよく聞けたか、自分の意見を伝えられたかを問いかけ、本時の振り返りが具体的にできるようにする。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 班ごとに集合したり整列したりする練習を行う。 (適宜)	○ 話し合って決めためあてや約束がきちんと守られるように、適宜助言するとともに、望ましい言動を称賛する。
・ 決まりや約束を守り、遠足を行う。(当日)	◇ 班活動では、互いの立場を考えて協力的に過ごすことが楽しい遠足につながるということが分かったか。

**1 題材名** 自転車の安全な乗り方【内容(2) 健康・安全(安全)】 **指導の時期** 5月

**2 題材について**

学年が上がるごとに、自転車で行動できる範囲は広がる。ここ荒川地区は学区が広いので、児童が自転車に乗って、離れた地区に行くこともある。行動範囲が広がるにつれて、自転車で車とぶつかりそうになったり、軽い接触事故を起こしたりする児童もいるであろう。そこで、本題材では、自転車に乗っていて感じた危ないと思ったことを発表し、危険が身近にあることを感じながら、正しく安全な自転車の乗り方を理解していく。そして、交通安全のマナーを守ることの大切さを考え、実践していく態度を育てていく。

**3 題材の目標**

- 自転車に乗っていて感じた危険を発表したり、友達の経験を聞いたりして、安全な安全に対する意識を高めている。(関・意・態)
- 自転車に乗っていて感じた危険を発表したり、友達の経験を聞いたりして、自転車の安全な乗り方について考えることができる。(思・判・実)
- 自転車に乗っていて感じた危険を発表したり、友達の経験を聞いたりしたことをもとにして、正しく、安全な自転車の乗り方が分かる。(知・理)

**4 他教科・他領域や日常指導などとの関連** ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 自転車に乗っていて感じた危険を発表したり、車を運転している人の気持ちになって考えたりすることで、安全な自転車の乗り方を判断する。(判断力)

◆ 交通ルールを守るとは、自分の命を守るためにとても重要なことだと認識させる。(3-(1) 生命尊重)

★ 自転車の安全な利用の仕方を理解し、安全な乗車ができるようにする。(安全指導)

**5 題材の展開**

**(1) 事前の活動**

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 自転車に乗っていて感じた危険について思い出しておく。 (休み時間・ふれあいタイム)	○ 児童からの発表だけでなく、教師側からも危険な場所や乗り方を示すことで、様々な危険に対応する話し合いができるようにする。

**(2) 本時の活動**

① 活動テーマ例 「自転車に乗ったときのヒヤリ体験を発表しよう」

② 活動のねらい 自転車を正しく、安全に乗ろう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 自転車に乗る際の学校のルールを確認する。	○ 危険について話し合う前に、基本的なルールが守れているか確認し、日頃の児童の自転車の乗り方を振り返ることができるようにする。
展開	2 自転車に乗っていて体験した「ヒヤリ」について発表する。 3 発表された「ヒヤリ」について、原因と対策について考え、発表する。	○ 普段、児童が実際に自転車で行っている道路や踏切、危険と思われる場所を示した地図を黒板に貼り、児童が「ヒヤリ」について、具体的にイメージしながら発表したり、聞いたりできるようにする。 ○ 「ヒヤリ」体験だけでなく、その原因や対策を考えることで、安全に対する意識を高める。 ◇ 自転車に乗っていて感じた危険について発表したり、友達の経験を聞いたりして、自転車の安全な乗り方を考えることができたか。
終末	4 これからの自転車の乗り方を振り返り、これからの乗り方について、めあてを立てる。	○ 今回の話し合いで出なかったことも含め、自転車の安全な乗り方について補足説明をする。 ◇ 自転車の安全な乗り方について、自分のめあてを立てることができたか。

**(3) 事後の活動**

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 日頃の自転車の乗り方を確認する。 ・ 交通安全教室や自転車教室に参加する。 (朝の会・帰りの会・休日)	○ 自分で立てためあてを守ることができているか、振り返る時間を取り、常に安全を意識しながら自転車に乗ることができるようにする。 ○ 学年だよりを通して、保護者にも自転車の正しい乗り方を通知し、協力してもらう。

1 題材名 歯の健康【内容(2) 健康・安全(体)】 指導の時期 6月

## 2 題材について

中学年は、ほぼ全員の児童が、乳歯から永久歯へ生え変わる(歯が抜ける)という経験をしたことがある時期である。歯を健康に保ち、むし歯の予防をするということは、健康上とても大切であるが、むし歯に罹患している児童も少なくないのが現状である。ここでは、むし歯の原因やむし歯を防ぐ方法を話し合わせたり、養護教諭の協力を得て専門的な立場から実演や説明、染め出し等をしてもらったりすることで、むし歯予防の意識を高め、健康な歯を保つ意識を高めさせたい。

## 3 題材の目標

- 自分の歯がどういう状況かについて考えたり、どうしたらむし歯を防げるかについて考えたりしながらむし歯予防への興味・関心をもち、積極的にむし歯予防を行おうとする。(関・意・態)
- これまでの生活経験や養護教諭の説明をもとに、むし歯を防ぐ方法を考えて自分の意見を発表することができる。また、自分のめあてをもとに、むし歯予防を実践することができる。(思・判・実)
- むし歯の原因を知るとともに、おやつの摂り方とブラッシングに気を付ければむし歯になりにくいことを知り、毎日欠かさずむし歯予防に努めることが大切であることが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)
- ◆ むし歯予防についての話を通して、毎日欠かさずむし歯の予防に努めることが大切であることに気付かせ、健康に留意しながら規則正しい生活が送れるようにさせる。(1-(1) 思慮、節度・節制・自立)
- ★ 歯の健康について考える活動を通して、生活習慣を見直し、よりよい生活習慣の定着を図る。(保健指導)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯ブラシの点検をする。(給食等)</li> <li>・ むし歯の原因を考える。(朝の会・帰りの会等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯になったときのことを想起させ、むし歯の原因を事前に考えさせるよう全体に声をかけることで、むし歯に対する関心を高める。</li> </ul>

### (2) 本時の活動

- ① 活動テーマ例 「むし歯ゼロ大作戦！」
- ② 活動のねらい みんながむし歯にならないために、むし歯になるわけやむし歯にならない方法を話し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、むし歯になったときの様子を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯の有無を問いかけ、むし歯のときの様子を発表させる。</li> <li>○ むし歯がない児童も、むし歯を防ぐ方法を考えることを伝え、課題意識や目的意識をもたせる。</li> </ul>
	2 教師と養護教諭の話聞く。	
展開	3 むし歯の原因について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 普段の自分の生活を想起させる。</li> <li>○ 養護教諭が具体物や資料を提示して、むし歯の原因やおやつの摂り方、ブラッシングについて説明することで、児童の理解を深められるようにする。</li> <li>○ むし歯の原因や各家庭の実態から、自分の生活に合ったむし歯をなくす方法やむし歯の予防方法を考えるようにする。</li> <li>◇ 話し合ったことや聞いたことをもとに、むし歯を防ぐ方法を考え、自分の意見を発表することができたか。</li> </ul>
	4 おやつの摂り方を話し合う。	
	5 おやつの摂り方やブラッシングについて、養護教諭の話聞く。	
終末	6 むし歯予防についての話し合いを振り返り、教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むし歯の予防のために今後実践していきたいことを記述させ、実践意欲が高まるようにする。</li> </ul>

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 自分のめあてを意識して むし歯予防を行う。(随時)	○ 授業で用いた資料を提示し、自分のめあてが達成できているか適宜問いかける。 ◇ めあてに沿ってむし歯予防を積極的に行おうとしているか。

1 題材名 1 学期の反省【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 7 月

2 題材について

小学校生活が始まって、1 年生の児童の生活環境は大きく変わった。うれしかったことや楽しかったこと、大変だったことなどを話し合わせ、1 学期間の自分たちのがんばりを振り返るとともに、2 学期に向けて生活をさらによくしていこうとする意欲を高めさせたい。

3 題材の目標

- 1 学期の学習や生活について振り返り、うれしかったことや楽しかったこと、大変だったことについて考え、2 学期のめあてを考えようとする。(関・意・態)
- 1 学期の学習や生活を振り返り、よかったところや直したいところを発表することができる。(思・判・実)
- 1 学期の反省をもとにして2 学期のめあてを立てることを通して、課題意識を持って生活をさらによくしていこうとすることの大切さに気付く。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 友達の意見のよさに気付く、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)

★ 振り返りと新たなめあてによって、生活が少しずつ向上していくことに気付かせ、近い将来を設計していくことの大切さや必要性に気付く。(キャリア教育)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 「自分につける通知表」に取り組む。 (帰りの会等)	○ 1 学期の生活を振り返らせ、どのような生活を送ってきたかについて、うれしかったことや楽しかったこと、大変だったことを中心に記述させる。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「1 学期を振り返ろう」

② 活動のねらい 1 学期の生活を思い出し、自分をさらに伸ばすめあてを考えよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、1 学期の生活について話し合う。	○ 学習や生活の様子を想起できない児童には、学校行事や学年行事等の様子を伝え、想起できるよう支援する。
	2 教師の話聞く。	○ 1 学期の生活に改善点がない児童にも、課題意識や目的意識をもたせる声かけをする。
展開	3 2 学期にどのように生活していきたいか話し合う。	○ 校訓「かしこく、なかよく、たくましく」にもとづいて考えさせる。
	4 2 学期のめあてを記述する。	○ 1 学期のめあてで達成できなかったものは、2 学期に継続してもよいことを伝える。
	5 記述したことを発表する。	◇ 1 学期の生活について振り返り、2 学期のめあてを立てることができたか。
終末	6 教師の話聞く。	○ めあてが書けたことや発表したことを称賛し、2 学期の学校生活への意欲を高める。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 自分の振り返りとめあてを意識して生活する。 (常時活動)	○ めあてを掲示し、めあてが達成できているか適宜問いかける。 ◇ めあてに沿って生活しようとしているか。

1 題材名 夏休みの生活【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 7月

## 2 題材について

小学校生活最初の夏季休業は、1年生の児童にとって楽しみである一方、課題等に計画的に取り組んでいく必要があるという大変さもある。保護者には、学年懇談会や学年だより等で協力を呼びかけるが、児童自身も、計画を立てて取り組むことの大切さを理解したり、やり遂げた達成感を味わったりすることが重要である。

そこで、夏季休業中の生活、学習の仕方等を取り上げ、どのように計画を立て、過ごしていけばよいかを考えさせ、夏季休業をよりよいものにしていこうとする意欲を育てたい。

## 3 題材の目標

- 夏季休業中の学習や生活について、進んで計画を立てたりめあてを考えたりしようとする。 (関・意・態)
- 夏季休業中の学習や生活について、望ましい生活リズムや学習計画を知り、計画を立てたり、めあてを記入したりすることができる。 (思・判・実)
- 夏季休業中の学習や生活について、計画を立てて取り組むことの大切さを知る。 (知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)
- ◆ 計画を立て、自分で立てためあてを意識することによって、節度ある、自立した生活を送ろうとする態度を育てる。(1-(1) 思慮、節度・節制・自立)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 夏休みの計画表に、夏季休業中の予定を記入する。 (家庭)	○ 学年懇談会や学年だよりで、夏季休業を計画的に過ごすことの大切さを保護者に説明し、協力を得られるよう配慮する。

### (2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「充実した夏休みにしよう」

② 活動のねらい 夏休みを楽しく過ごすための計画を立てよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、夏休みの生活について、教師の話聞く。	○ 項目を分けて、分かりやすく説明する。 (例)健康な生活について 安全な生活について 計画的な学習について
展開	2 夏休みのめあてを立てる。 3 夏休みの学習計画を立てる。 4 記述したことを発表する。	○ 無理なく取り組めるめあて、計画を立てさせる。 ○ 家族行事や育成会行事等にも進んで参加するよう話す。 ◇ 計画的に過ごすことの大切さを理解し、夏休みの計画を立てているか。
終末	5 教師の話聞く。	○ 夏季休業の過ごし方の大切さを説明し、夏季休業の生活への意欲を高める。

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 計画やめあてを意識して夏休みの生活を送る。 (夏休み)	○ 計画的に生活することが困難な児童、家庭には、連絡をとり、話を聞く。 ◇ 計画的に夏季休業を過ごすことができたか。 (課題、日記等の提出状況)

1 題材名 3年〇組のよさ【内容(2) 人間関係】

指導の時期 9月

2 題材について

クラス替えを行い約半年が過ぎた。児童は、毎日の学級での生活や様々な学校行事を通して友達同士や教師との信頼を強く感じてきている。また、学級のよさを実感したり、友達や自分のよさを認め合ったりしていく中で、学級への所属感をもち、居心地よく感じるようになっていっているだろう。そこで、さらに、学級への所属感や居心地のよさを高めるために、これまでの生活を振り返り、よりよい学級を作るためにはどうすればよいのかを話し合う必要がある。そのことを通して、さらに学級での協調性や居心地のよい学級の雰囲気作りにつなげていく。

3 題材の目標

- 自分の学級に関心をもち、よりよい学級作りのための話合いに意欲的に参加しようとする。(関・意・態)
- これまでの学級生活を振り返り、学級で楽しかったことや頑張ったことを振り返り、さらに学級をよくするための自分の考えを發表することができる。(思・判・実)
- 自分の意見を發表したり、友達の考えを聞いたりして学級のよさが分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 学級の長所や短所を話し合う活動を通して、よりよい学級作りのための方法を考えようとする。(実践力)
- ◆ 学級のよさを伸ばすには、一人一人の頑張りと協力が必要であることに気付かせ、自立や信頼の大切さを実感させる。(2-(3) 友情・信頼、助け合い)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 学級で楽しかったことや頑張ったことをふせんに書き出しておく。 (ふれあいタイム等)	○ 個人での出来事ではなく、学級全体に関わることであることを知らせる。 ○ いつでも学級のよかったところを書けるように付箋を準備しておく。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「3年〇組じまん！」

② 活動のねらい 学級のじまんを見つけて、もっとクラスをよくしよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 学級の様子と、今日の活動について教師から話を聞く。	○ 長所と短所も含めて、現在の学級の様子を伝え、本時でのねらいを明確にする。 ○ 本時は、学級のよさを伸ばす方法を考える時間であることを意識化させる。
展開	2 各班ごとに、いいところを書いた付箋を模造紙に貼る。 3 似ている内容の付箋を近くに貼る。 4 クラスの自慢を一言でまとめる。	○ 毎日の生活での変化や学校行事での出来事を伝え、様々な視点から学級のよさを見つけられるようにする。 ○ 付箋に書いてある内容に目を通し、似た内容ごとにまとめることを助言することで、活動の最後に、学級の自慢が書きやすくなるようにする。 ◇ これまでの学級生活を振り返り、学級のよさを見つけているか。
終末	4 これから学級のためにできる自分のめあてを立てる。	○ 話合いを称賛し、学級のよい雰囲気作りにつなげる。 ○ 自分が学級のためにできることを書くように助言する。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 学級のためにできることとして考えためあてを実践する。 (常時)	○ 学級のために取り組んでいる姿勢を称賛する。 ◇ 学級のよさを伸ばすため、考えたことをもとに実践しているか。



1 題材名 学校図書館の利用【内容(2) 学校図書館】 指導の時期 10月

## 2 題材について

読書について、荒川小学校では、月曜日と木曜日の朝の学習として読書の時間を取り入れたり、校内読書週間を設け読書を促したり、南那須図書館と連携して巡回図書館を定期的に行ったりし、児童に読書の大切さや面白さを伝える取り組みを行っている。朝の学習や新しい本が入ったときには、進んで本を読む児童は多いが、定期的に読書をしている児童は少ない。今回の題材では、自分のお気に入りの本について紹介し、さらに児童たちの読書の意欲を高めたい。今までに読んだことのなかった本や、新しい分野の本に触れる機会を通して、読書の幅を広げたり、読書への関心を高め、進んで読書をする態度を育てていきたい。

## 3 題材の目標

- おすすめの本を見つけるために、進んで本を読んだり、紹介しようとしたりしている。  
(関・意・態)
- 本の内容やワークシートをもとにおすすめの本を紹介することができる。  
(思・判・実)
- 本を読んだり、本を紹介することを通して、読書する楽しさや大切さが分かる。  
(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 本を紹介する活動を通して、今までに読んだことのなかった本や、新しい分野の本にも興味・関心をもち、発表を認め合いながら話を聞く。(実践力)
- ◆ 約束や決まりを守って、みんなが使う物を大切にしようとする気持ちを養う。  
(4-(1) 公徳心・規則の尊重)
- ★ 本に親しみ、読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情を育てる。  
(学校図書館教育)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本を読み、おすすめの本を見つけておく。</li> <li>・ おすすめの本についてワークシートにまとめておく。 (朝の学習・ふれあいタイム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おすすめの本として紹介できそうな本を選ぶよう声かけをする。本を決められない児童には、何冊かの本を提示する。</li> <li>○ ワークシートを準備し、紹介するときに活用できるようにする。</li> </ul>

### (2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「おすすめの本を紹介し合おう！」

② 活動のねらい おすすめの本を紹介し合おう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 一人ずつ、おすすめの本を紹介していくことを説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おすすめの本の紹介の仕方をお手本として示し、発表がスムーズに進むようにする。</li> <li>○ 必要に応じて書画カメラを準備し、本やワークシートを拡大して提示する。</li> </ul>
展開	2 おすすめの本を紹介し合う。 3 紹介に対して、感想を伝え合う。 4 本とワークシートを教室に掲示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本の内容や読んだ感想を発表するよう伝える。</li> <li>○ 実際の本やワークシートを提示しながら発表するよう指示する。</li> <li>◇ おすすめの本を紹介したり、友達の発表を聞いて、読書への興味・関心を高めることができたか。</li> </ul>
終末	5 本時の活動内容を振り返り、感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の活動内容を振り返り、感想を記入させる。</li> <li>◇ 本時の活動について感想を記入したり、気になった本の名前を書いたりしている。</li> </ul>

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動後に掲示したワークシートや本を見て、進んで読書する。 (常時活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に掲示物を更新し、様々な本に触れる機会を増やす。</li> <li>○ 読書の記録を活用し、読んだ本の記録を目に見える形で残しておくように伝える。</li> </ul>

1 題材名 心のこもったあいさつ【内容(2) 生活習慣】 指導の時期 1 1 月

2 題材について

あいさつは基本的な生活習慣の1つである。児童は、多くの友達や教師と学校生活を送る中で、あいさつの必要性や大切さを感じ、学んできた。しかし、あいさつは毎日くり返し行われるので、心をこめた、相手に伝わるあいさつにはならないこともある。そこで、心をこめたあいさつとはどのようなものなのか、これまでの生活や自分の経験をもとに心をこめたあいさつについて考え、自分からあいさつができるようにしたい。

3 題材の目標

- 心をこめたあいさつを進んでしようとする意欲をもつことができる。  
(関・意・態)
- 心をこめたあいさつについて考え、実践することができる。  
(思・判・実)
- これまでの生活や自分の経験をもとに心をこめたあいさつについて考え、あいさつの大切さが分かる。  
(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 心をこめたあいさつについて、これまでの自分の経験やあいさつされる側の相手の気持ちに立ち、心をこめたあいさつについて考え、自分から進んであいさつすることができる。(技能)
- ◆ 心をこめたあいさつは、人と人をつなぐ架け橋になったり、お互いを認め合ったりするものであることを理解し、自分から進んであいさつができるように意欲を高める。  
(2-(1) 礼儀)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ あいさつについてのアンケートに答え、自分の実態を知る。 (朝の学習・ふれあいタイム)	○ 自分が、いつ、どこで、どんなときに、どんなあいさつをしているかを記述できるようにし、心をこめたあいさつについて、自分の考えをもっておくことで、話し合いが円滑に進むようにする。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「心をこめたあいさつをしよう」

② 活動のねらい 心をこめたあいさつについて考え、実践しよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 心をこめたあいさつについて話し合うことを発表する。 2 「あいさつ」について教師の話を聞く。	○ 事前のアンケートの結果を伝えたり、これまでの経験を振り返らせたりすることで、話し合いのねらいを明確にする。 ○ 「心をこめたあいさつ」を明確にし、実践できるような話し合いになるよう助言する。
展開	3 あいさつはなぜ必要なのかを話し合う。 4 ロールプレイを通していろいろなあいさつの仕方を試し、そのときの気持ちを考える。	○ これまでの生活や自分の経験をもとに心をこめたあいさつについて考えを発表することで、自分の考えを伝えられるようにする。 ○ いろいろなあいさつをロールプレイを通して体験させることで、相手に伝わるあいさつの違いに気付くようにする。 ◇ あいさつについての話し合いやロールプレイを通して、心をこめたあいさつについて理解したか。
終末	5 本時の活動内容をふり返り、これからのあいさつの仕方についてノートに記入する。	○ 本時の活動内容を振り返り、今後どのようなあいさつをしていきたいかをノートに記入させる。 ◇ 気持ちのよいあいさつについて、どのように実践していくのかノートに書くことができたか。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ お互いに気持ちよく生活するために、気持ちのよいあいさつをする。 (常時活動)	○ 心をこめたあいさつを具体的に「○○のあいさつ」と掲示することで、日頃から意識してあいさつできるようにする。(例：笑顔のあいさつ)

1 題材名 2 学期の反省【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 1 2 月

## 2 題材について

中学年となり、低学年のときとは違った学習や活動を行ってきた。2 学期も終わりに近付き、3 年生から始まった理科や社会、総合的な学習の時間の学習にも慣れ、特別支援学校との交流や校外学習の計画も主体的に立てることができるようになった。中学年としての意識が高まってきていると言える。そこで、2 学期の活動や、自分たちの成長を確かめながら今学期を振り返り、3 学期へ向けてさらに自分を伸ばしていきたいという意欲を高めさせたい。

## 3 題材の目標

- 2 学期の学習や生活について振り返り、自分の成長を実感し、さらに頑張りたいことを考えようとする。(関・意・態)
- 2 学期の学習や生活について振り返り、頑張ったところや改善したいところ、3 学期さらに伸ばしていきたいところを考えることができる。(思・判・実)
- 2 学期の反省をもとに 3 学期の学校生活について考える活動を通して、課題意識をもって生活することの大切さが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)
- ★ 振り返りと新たなめあてによって、生活が少しずつ向上していくことに気付き、近い将来を設計していくことの大切さや必要性に気付く。(キャリア教育)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 2 学期のめあて「学習」「生活」「運動」の項目について振り返る。 (休み時間等)	○ 2 学期の活動や、自分たちの成長を確かめられる資料を提示し、今学期の学校生活について想起させる。

### (2) 本時の活動

- ① 活動テーマ例 「2 学期を振り返ろう」
- ② 活動のねらい 2 学期の学校生活を振り返り、自分をさらに伸ばすめあてを考えよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 2 学期の活動の様子について、教師の話を聞く。	○ 2 学期の行事や学習内容など、提示する物を準備しておき、児童が想起しやすいようにする。
展開	2 頑張ったことについて発表する。 ・ 計算練習を頑張った。 ・ 清掃に真剣に取り組んだ。 3 自分の改善すべきところについて考える。 4 3 学期頑張りたいことについて発表する。 ・ 二重跳びが跳べるようになりたい。 ・ 漢字を頑張りたい。	○ 1 位や満点をとったことだけが頑張ったことではないこと、それぞれができるようになったことが頑張ったことだということを確認し、互いの努力を称賛し合えるようにする。 ○ 常に課題意識や目的意識をもって活動することが、学校生活をよりよくするために大切なことに触れる。 ○ 校訓「かしこく なかよく たくましく」に基づいて考える。 ◇ 2 学期の反省をもとに、3 学期に向けてのめあてを考えることができたか。
終末	5 教師の話を聞く。	○ 3 学期に向けてのめあてをもてたことを称賛し、来学期の学校生活への意欲を高める。

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 振り返りとめあてを意識して生活する。 (常時活動)	○ 振り返りやめあてを意識した行動に励ましの言葉をかける。

1 題材名 冬休みの生活【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 12月

2 題材について

小学校の長期休業を何度か経験し、休業中も規則正しく生活しようとする意識が備わってきている。休業中の学習や生活の仕方について、児童自らが考え計画を立てることにより、規律ある生活が送れるようにする。

本題材は、冬季休業中の生活、学習の仕方等を取り上げ、夏季休業で学んだことを生かして、どのように計画を立て、過ごしていけばよいかを考えさせる。そして、冬季休業をよりよいものにしていこうとする意欲を育てたい。

3 題材の目標

- 冬季休業中の学習や生活について、進んで計画を立てたりめあてを考えたりしようとする。 (関・意・態)
- 冬季休業中の学習や生活について、望ましい生活リズムや学習計画を知り、計画を立てたり、めあてを記入したりすることができる。 (思・判・実)
- 冬季休業中の学習や生活について、計画を立てて取り組むことの大切さを知る。 (知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)

◆ 計画を立て、自分で立てためあてを意識することによって、節度ある、自立した生活を送ろうとする態度を育てる。(1-(1) 思慮、節度・節制・自立)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 冬休みの計画表に、冬季休業中の予定を記入する。 (家庭)	○ 学年懇談会や学年だよりで、夏季休業を計画的に過ごすことの大切さを保護者に説明し、協力を得られるよう配慮する。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「充実した冬休みにしよう」

② 活動のねらい 冬休みを楽しく過ごすための計画を立てよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、冬休みの生活について、教師の話聞く。	○ 項目を分けて、分かりやすく説明する。 (例)健康な生活について 安全な生活について 計画的な学習について
展開	2 冬休みのめあてを立てる。 3 冬休みの学習計画を立てる。 4 記述したことを発表する。	○ 無理なく取り組めるめあて、計画を立てさせる。 ○ 家族行事や育成会行事等にも進んで参加するよう話す。 ◇ 計画的に過ごすことの大切さを理解し、冬休みの計画を立てているか。
終末	5 教師の話聞く。	○ 冬季休業の過ごし方の大切さを説明し、冬季休業の生活への意欲を高める。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 計画やめあてを意識して冬休みの生活を送る。 (冬休み)	○ 計画的に生活することが困難な児童、家庭には、連絡をとり、話を聞く。 ◇ 計画的に冬季休業を過ごすことができたか。 (課題、日記等の提出状況)

1 題材名 野菜の栄養【内容(2) 給食・食習慣】 指導の時期 1月

2 題材について

子どもたちの給食の食べ方を見ていると、食わず嫌いがあつたり、以前1度口にしてまずいと感じたからという理由で、特に野菜を多く残す児童が見られる。野菜は、栄養価が高く、自分の体を元気にしてくれることは分かっているものの、なかなか克服できない児童が多くいる。そこで、改めて、野菜がもつ栄養を見直し、具体的に自分の体にどんな効果をもたらせてくれるのかを調べ、食べ方を話し合うことで、進んで野菜を食べようとする意欲を育てていく。

3 題材の目標

- これまでの自分の食べ方を振り返り、進んで野菜を食べようとする。(関・意・態)
- 野菜がもつ力について考えたり、調べたりしたことをもとに自分の食べ方を見直し、野菜を食べる大切さに気付くことができる。(思・判・実)
- 野菜がもう力について理解し、野菜を食べる大切さが分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◆ 野菜がもつ力について考えることとともに、野菜を生産している人がいることにも触れ、食事に感謝する心情を育てる。(3-(2) 自然愛、動植物愛護)
- ★ 野菜がもつ力を調べ、これまでの自分の食べ方を振り返りながら、今後の正しい食事の取り方について考えられるようにする。(食に関する指導)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 野菜クイズと野菜に関するアンケートに答える。 (ふれあいタイム)	○ 野菜に関するアンケートやクイズを実施し、野菜に少しでも関心がもてるようにする。 ○ 給食や家での自分の食べ方を振り返っておくように声をかける。

(2) 本時の活動

- ① 活動テーマ例 「野菜パワーを知ろう」  
② 活動のねらい 野菜がもつ力を調べて、元気もりもりになろう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 野菜クイズの答えと、アンケート結果を知る。	○ 野菜クイズやアンケートを実施し、本時への関心を高める。 ○ 野菜のもつ力や食べ方について考えていくことを伝え、本時のねらいを焦点化する。
展開	2 栄養と働きを示した図で、野菜がどんな栄養をもち、どんな働きをするのかを調べる。 3 野菜を当てはまるところに貼る。	○ 3色で色分けした、栄養と働きを示した図を黒板に貼り、視覚的に分かりやすくする。 ○ アンケートで最も嫌いな野菜に挙げられた野菜を例に挙げ、活動の流れを説明する。 ○ 野菜の栄養と同時にバランスよく食べる大切さも伝える。 ◇ 野菜の持つ力に関心をもち、積極的に調べたり発表したりしているか。
終末	4 食べ方に関するめあてを立てる。	○ これまでの自分の食べ方を振り返り、少しでも野菜に挑戦するように話す。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 自分のめあてにもとづいて、実践する。 (給食)	○ 野菜に挑戦する姿勢やバランスのよい食べ方を称賛し、声をかけることで、継続的に実践できるようにする。 ◇ 自分のめあてをもとに実践しているか。

1 題材名 4年生になったら【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 2月

2 題材について

6年間の学校生活の半分が終わろうとしている3年生は、充実感をもって荒川小学校での生活を送っている。活動の幅も広がり、中学年としての自覚も育ってきている。

そんな3年生も、4月から4年生に進級する。上級生の手助けもなくなり、手助けをしてもらう側から手助けをする側へと変わっていく。

そこで、4年生の学習や生活の様子について教師の話を聞いたり、4年生にインタビュー調査やアンケート調査をしたりする活動を通して、児童が来年度の学校生活の見通しをもち、早く4年生に進級したいという自信と意欲がもてるよう、本題材を設定した。

3 題材の目標

○ 中学年としての学習や生活の望ましい在り方について、進んで話し合ったり調べたりしようとする。 (関・意・態)

○ 中学年としての学習や生活について、望ましい在り方を振り返り、改善策を考えたり、めあてを発表したりすることができる。 (思・判・実)

○ 中学年としての学習や生活について、さらに活動の幅を広げ、下学年の手本となることの必要性に気付き、それを実践していくことの大切さが分かる。 (知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 1年間の生活を振り返ったり、上級生の生活の様子を知ったりすることを通して、来年度の自分のめあてを立てることができる。(技能)

◆ 来年度の生活を考えることを通して、生活の見通しをもち、よりよく生活していこうとする態度を育てる。(1-(2) 勤労・努力、忍耐)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 4年生にインタビュー調査をしたりアンケート調査をしたりする。 (休み時間)	○ 事前に4学年担任と打ち合わせをし、4年生になってうれしかったことや大変だったことを4年生児童に考えさせておく。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「もうすぐ4年生」

② 活動のねらい 4年生に進級する心構えをもとう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、教師の話を聞く。	○ 進級することの意味や、生活や学習の変化について、児童が意欲をもち、安心して考えられるよう話をする。
展開	2 インタビュー調査の結果を発表する。  3 アンケート調査の結果を聞く。	○ 発表の仕方を型で示す。 (例)○○について□□さんに話を聞きました。すると、…  ○ 調査の結果を、項目を分けて説明する。 (例)生活について 学習について ふれあいタイムの過ごし方について うれしかったこと・大変だったこと
	4 活動を通して考えた来年度の目標やめあてを発表する。	◇ 調査や話合いの結果から、来年度に向けて見通しもち、意欲的に学校生活を送ろうとしているか。
終末	5 教師の話を聞く。	○ 話合いを振り返り、進級への意欲を高める。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 希望をもって学校生活を送る。 (常時活動)	○ 調査の結果を掲示して、進級への意欲を維持できるようにする。 ◇ 意欲をもって学校生活を送ることができたか。 (常時活動)

# 1 題材名 3 学期の反省【内容(2) 希望・目標】

指導の時期 3 月

## 2 題材について

中学年になり、下級生も 2 学年いるということで、様々な場面でお手本となることを意識して学習や生活に臨んできた。さらに今年はクラス替えがあり、半数が新たな仲間として、学校生活を送ってきたが、運動会や特別支援学校との交流など、1 年間のいろいろな行事などを通して、教師や仲間との信頼を深めながら、生活を送ることができた。そのような経験を通して、現在の 3 年生は、自信をもって学校生活に臨んでいると考えられる。そこで、1 年間の活動や自分たちの成長を確かめながら 3 学期を振り返り、4 年生への進級に向けてさらに自分を伸ばしていきたいという意欲を高めさせたい。

## 3 題材の目標

- 1 年間の活動や自分たちの成長を確かめながら 3 学期の学習や生活について振り返り、楽しかったことや頑張ったこと、大変だったことについて考え、来年度頑張りたいことを考えようとする。(関・意・態)
- 3 学期の学習や生活を振り返り、自分の長所や短所を考え、来年度さらに伸ばしていきたいところを考え、目標に表すことができる。(思・判・実)
- 3 学期の反省をもとにして来年度のめあてを立て、目標に向かって努力することや友達と協力する大切さが分かる。(知・理)

## 4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)

★ 振り返りと新たなめあてによって、生活が少しずつ向上していくことに気付かせ、近い将来を設計していくことの大切さや必要性に気付く。(キャリア教育)

## 5 題材の展開

### (1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 「自分につける通知表」に取り組む。 (帰りの会等)	○ 3 学期の生活を振り返らせ、楽しかったことや頑張ったこと、大変だったことを中心に記述させる。

### (2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「3 学期を振り返ろう」

② 活動のねらい 1 年間の生活と 3 学期の生活を思い出し、自分をさらに伸ばすめあてを考えよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、3 学期の生活について振り返る。	○ 月ごとにあったの行事や写真を示すことで、児童から頑張ったことや大変だったことを引き出す。
	2 教師の話聞く。	○ 3 学期の生活に改善点がない児童にも、課題意識や目的意識をもたせる声かけをする。
展開	3 来年度はどのように生活していきたいか話し合う。	○ 今年度の振り返りと共に、来年度の行事などを伝えることで、具体的なめあてを立てられるようにする。
	4 来年度のめあてを記述する。	○ 校訓「かしこく、なかよく、たくましく」にもとづいて考えさせる。
	5 記述したことを発表する。	○ 3 学期のめあてで達成できなかったものは、来年度に継続してもよいことを伝える。 ◇ 3 学期の生活について振り返り、来年度のめあてを立てることができたか。
終末	6 教師の話聞く。	○ めあてが書けたことや発表したことを称賛し、来年度の学校生活への意欲を高める。

### (3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 自分の振り返りとめあてを意識して生活する。 (常時活動)	○ 来年度の生活について、進級を意識した言葉をかける。 ◇ めあてに沿って生活しようとしているか。

1 題材名 4年生に向けて【内容(2) 希望・目標】 指導の時期 3月

2 題材について

学年末・学年始休業は、進級への意識、次年度の学校生活の意欲を高める重要な時間である。これまでの長期休業の過ごし方で学んできたことを生かし、保護者の協力を得ながら充実した春休みを過ごすことで、児童にやり遂げる達成感を味わわせたい。

本題材は、学年末・学年始休業中の生活、学習の仕方等を取り上げ、長期休業で学んだことを生かして、どのように計画を立て、過ごしていけばよいかを考えさせる。そして、学年末・学年始休業をよりよいものにし、進級に向けて頑張ろうとする意欲を育てたい。

3 題材の目標

- 学年末・学年始休業中の学習や生活について、進んで計画を立てたりめあてを考えたりしようとする。(関・意・態)
- 学年末・学年始休業中の学習や生活について、望ましい生活リズムや学習計画を知り、計画を立てたり、めあてを記入したりすることができる。(思・判・実)
- 学年末・学年始休業中の学習や生活について、計画を立てて取り組むことの大切さを知る。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 友達の意見のよさに気付き、自らの生活に取り入れて問題を解決し、生活を向上させようとする。(実践力)
- ◆ 計画を立て、自分で立てためあてを意識することによって、節度ある、自立した生活を送ろうとする態度を育てる。(1-(1) 思慮、節度・節制・自立)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ 春休みの計画表に、学年末・学年始休業中の予定を記入する。 (家庭)	○ 学年だよりで、学年末・学年始休業を計画的に過ごすことの大切さを保護者に説明し、協力を得られるよう配慮する。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「充実した春休みにしよう」

② 活動のねらい 春休みを楽しく過ごすための計画を立てよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、春休みの生活について、教師の話聞く。	○ 項目を分けて、分かりやすく説明する。 (例)健康な生活について 安全な生活について 計画的な学習について
展開	2 春休みのめあてを立てる。 3 春休みの学習計画を立てる。 4 記述したことを発表する。	○ 無理なく取り組めるめあて、計画を立てさせる。 ○ 家族行事や育成会行事等にも進んで参加するよう話す。 ◇ 計画的に過ごすことの大切さを理解し、春休みの計画を立てているか。
終末	5 教師の話聞く。	○ 学年末・学年始休業休業の過ごし方の大切さを説明し、学年末・学年始休業の生活への意欲を高める。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ 計画やめあてを意識して春休みの生活を送る。 (春休み)	○ 計画的に生活することが困難な児童、家庭には、連絡をとり、話を聞く。 ◇ 計画的に学年末・学年始休業を過ごすことができたか。(課題、日記等の提出状況)



1 題材名 けがの手当て【内容(2) 健康・安全(体)】 指導の時期 6月

2 題材について

朝の会や帰りの会、けがをしたときなどに担任や養護教諭から傷口を洗ってから手当てをしてもらうように話をしているが、なぜ必要なのかよく理解できている児童は多くはない。日常でけがをした時の簡単な手当ての仕方や血液に対する適切な処置について理解させたい。また、血液でうつる病気があることを理解し、血液の始末の仕方についても注意できるようにさせたい。

3 題材の目標

- けがをしたときの手当てについて興味・関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。(関・意・態)
- 正しいけがの手当て方法や血液でうつる病気があることを知り、生活に生かすことができる。(思・判・実)
- けがをしたときの手当ての方法や血液の始末の仕方が分かる。(知・理)

4 他教科・他領域や日常指導などとの関連 ◎人権教育 ◆道徳教育 ★その他

- ◎ 血液でうつる病気について正しく理解し、けがをしたときにどうしたらよいか分かる。(知性)
- ◆ 自分でできる手当てや血液でうつる病気があることを知り、衛生的な生活習慣を身に付けられるようにさせる。(1-(1) 思慮、節度・節制・自立)
- ★ 血液からうつる病気があることを理解し、けがをしたときに衛生的な対応ができるようにする。(保健指導)

5 題材の展開

(1) 事前の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)
・ けがや血液に関するアンケートをとる。 (朝の会・帰りの会等)	○ けがや血液について事前に考えさせることで、けがの手当てに対する関心を高める。

(2) 本時の活動

① 活動テーマ例 「けがの手当てのしかたを知ろう」

② 活動のねらい けがをしたときどのような手当てをしたらよいか考えよう。

	児童の活動内容	教師の支援(○)・評価(◇)
開始	1 「活動のテーマ」と「活動のねらい」を確認し、けがをしたときの様子を発表する。	○ 事前アンケートに基づいて、血液が出た経験があるか、それはどんなときだったか気付かせる。
展開	2 血液の働きについて養護教諭の話聞く。 3 けがをしたときの手当てについて考える。 ・ 自分でできる手当て ・ グループで話し合い、発表する。 4 血液が原因でうつる病気があることを知る。	○ 血液は、赤血球、白血球、血小板、血しょうから成り立っていることを簡単に押さえる。 ○ 血液のそれぞれの働きによって、私たちの健康が守られていることを理解させる。 ○ 擦り傷や鼻血など、日常生活において起こりやすい軽度なけがの手当てについて考えさせる。 ○ グループを回り、必要に応じて指導助言する。 ◇ 話し合ったことや聞いたことをもとに、けがの手当ての方法を考え、自分の意見を発表することができたか。 ○ 血液でうつる病気があることを説明する。 ○ 血液に対する恐怖心をもたないように配慮する。 ○ けがをしたときは自分のことは自分でできるようにすること、もし血が付いたらすぐに水で洗い流すことを理解させる。
終末	5 けがの手当てについての話を振り返り教師の話聞く。	○ けがをしたとき、今後実践していきたいことを記述させ、実践意欲が高まるようにする。

(3) 事後の活動

児童の活動内容(活動の場)	教師の支援(○)・評価(◇)
・ けがをしたとき、自分で正しい手当てや始末を行うことができる。(随時)	○ 授業で用いた資料を提示し、自分のめあてが達成できているか適宜問いかける。 ◇ めあてに沿って正しい手当てを行おうとしているか。